

船舶事故等調査報告書

平成23年1月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | | |
|----------|--|--|
| 事故等番号 | 2010門第154号 | |
| 事故等種類 | 乗揚 | |
| 発生日時 | 平成22年9月22日 08時00分ごろ | |
| 発生場所 | 山口県下関市豊北町沖 長門伊瀬灯台から真方位000° 20m付近 (概位 北緯34° 21.7′ 東経130° 53.5′) | |
| 事故等調査の経過 | 平成22年9月27日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 | |
| 事実情報 | 船種船名、総トン数 漁船 大進丸、19.95トン 船舶番号、船舶所有者等 NS2-15451（漁船登録番号）、個人所有 乗組員等に関する情報 船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 | |
| 死傷者等 | なし | |
| 損傷 | 全損 | |
| 事故等の経過 | 本船は、船長ほか1人が乗り組み、いか釣り漁を終え、山口県下関市特牛漁港に向けて約7ノットの速力で自動操舵により帰航中、船長が椅子に座ったまま居眠りに陥り、平成22年9月22日08時00分ごろ、長門伊瀬灯台北方の浅所に乗り揚げた。 本船は、波により離礁後、機関室に浸水し、沈没した。 乗組員2人は、水難救済会所属の救助艇に救助された。 | |
| 気象・海象 | 気象：天気 曇り、風向 北、風速 約6m/s、視界 良好 海象：波高 約0.5m、潮汐 上げ潮の末期 | |
| その他の事項 | 本船は、離礁後、豊北町角島に向け航行したが機関室への浸水により、主機関が止まりそうになったため、錨泊した。 本船は、機関室からの浸水により、沈没したため、サルベージ船に吊り上げられて粟野漁港まで運ばれた。 本船は、陸揚げ後、廃船処理された。 本船の喫水は、船首約1m、船尾約3mであり、乗揚場所の水深は、約3mであった。 | |
| 分析 | 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析 | あり なし なし 本船は、角島東方沖を南進中、単独で操船中の船長が居眠りに陥ったため、長門伊瀬灯台北方の浅所に乗り揚げたものと考えられる。 |
| 原因 | 本事故は、本船が、角島東方沖を南進中、単独で操船中の船長が居眠りに陥ったため、長門伊瀬灯台北方の浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。 | |